

報告事項ソ

平成28年度特別支援学校運動・スポーツ推進協議会の概要について

平成28年度特別支援学校運動・スポーツ推進協議会の概要について、別紙のとおり報告します。

平成29年3月18日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

# 平成28年度特別支援学校運動・スポーツ推進協議会の概要について

特別支援教育課

## 1 目的

特別支援学校幼児児童生徒が生涯にわたって運動・スポーツに親しむための指導・支援の在り方や競技力向上の方策等について協議し、充実を図る。あわせて、特別支援学校の幼児児童生徒を取り巻く運動・スポーツ環境の体制整備について情報交換を行う。

## 2 日時

平成29年1月31日（火） 午前10時から正午まで

## 3 内容

テーマ

「特別支援学校幼児児童生徒が卒業後も運動・スポーツに主体的に取り組むための在学中の指導・支援について」

### (1) 各特別支援学校の報告

- ・ 児童生徒が生涯にわたり運動に親しむことができるように運動・スポーツがしたいという気持ちの育成や体づくりに取り組んでいる。
- ・ 指導にあたっては、障がい者スポーツに関する外部指導者の活用や障がい者アスリートとの交流等を行い、また地域の各競技大会等への積極的な参加を促している。
- ・ 卒業後の余暇とした運動・スポーツの取組も行われている。その際、体育館等公共施設利用の仕方等、実際の生活に即した内容の学習も行っている。
- ・ 学校体育館等を開放し、卒業生の会や地域スポーツクラブと連携し、卒業後も地域で運動スポーツに親しむことができるような取組をしている。
- ・ 会場への移動や情報の保障等、地域での安全な運動・スポーツの実施のための環境整備は未だ十分ではない。
- ・ 各特別支援学校間における児童生徒の実態差は大きくなっており、学校によっては、児童生徒数の減少や児童生徒の実態の変化により、団体スポーツや競技スポーツの実施が難しくなっている。

### (2) 関係各課からの意見

- ・ 特別支援学校が障がい者スポーツの拠点としてより機能するためには、卒業後も含めて、家庭からの運動・スポーツを行う場への移動方法の検討が必要である。また、今まで以上に障がい者スポーツ大会等への理解と協力を求めたい。
- ・ スポーツテストを活かした児童生徒の意識調査や肥満度等の実態把握をしてほしい。
- ・ 各機関の連携を深めていくためにも、各学校の取組について情報提供をしてほしい。

(参考) 出席者

氏名	所属
中家 岳史	鳥取県立鳥取盲学校・教頭
霜村 新	鳥取県立鳥取聾学校・高等部主事
松井 志織	鳥取県立鳥取聾学校ひまわり分校・小学部主事
橋本 恵子	鳥取県立鳥取養護学校・保健体育主事
楠田 和幸	鳥取県立白兔養護学校・教頭
田中 ますみ	鳥取県立倉吉養護学校・主幹教諭
嘉賀 晴美	鳥取県立皆生養護学校・教頭
金光 博志	鳥取県立米子養護学校・教頭
上田 祐吉	鳥取県立琴の浦高等特別支援学校・教諭
福留 史朗	一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会・会長
松田 佐恵子	一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会・事務局長
横野 直史	一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会・指導員
山下 忍	一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会・指導員
北根 尚徳	地域振興部スポーツ課・係長
吉田 朋幸	鳥取県教育委員会事務局体育保健課・課長
足立 一穂	教育委員会事務局参事監兼特別支援教育課長
加藤 典子	教育委員会事務局特別支援教育課・指導担当係長
野口 明紀	教育委員会事務局特別支援教育課・指導主事
奥田 公直	教育委員会事務局特別支援教育課・指導主事